

(39) パセリ

病害虫	防除法	参考事項
うどんこ病	(耕種の・物理的防除) 1 被害葉を除去し、処分する。	
	(薬剤防除) 農薬登録情報	
	1 微生物殺菌剤	
	薬剤名備考	
	アグロケア水和剤	
	インプレッションクリア	
	クリーンカップ銅剤との混合剤	
	タフパール	
	ボトキラー水和剤	
	2 気門封鎖剤	
薬剤名		
アカリタッチ乳剤		
エコビタ液剤		
サフオイル乳剤		
サンクリスタル乳剤/アーリーセーフ		
フーモン		
ムシラップ		
粘着くん液剤		
3 発病初期に下記薬剤のいずれかを散布する。		
薬剤名		
アミスター20フロアブル		
ジーファイン水和剤		
ショウチノスケフロアブル		
ストロビーフロアブル		
トリフミン水和剤		
フルビカフロアブル		
ポリオキシシンAL水溶剤		
ヨネボン		
疫病	(耕種の・物理的防除) 1 発病ほ場では連作を避ける。 2 排水を良くする。 3 発病株は速やかに抜き取る。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 発病初期からユニフォーム粒剤を株元散布する。	○ 病原菌は高温性で土壌伝染・水媒伝染し夏期のみが発生するため、補植は9月以降地温の下がる時期に行うと被害を回避できる。

病害虫	防除法	参考事項
立枯病	(薬剤防除) 農業登録情報 1 土壌くん蒸剤で土壌消毒する(共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項を参照)。 薬剤名 ガスタード微粒剤/バスアミド微粒剤 クロールピクリン ドジョウピクリン/クロピク80/ドロ クロール クロピクフロー クロルピクリン錠剤 ソイリーン 2 ベンレート水和剤をかん注する。	
炭疽病	耕種的・物理的防除 1 7月中旬～9月上旬の発生時期に雨除け栽培を行う。	○ 夏～秋発生する。 ○ 茎葉に発生するが、特に芯が黒褐色に枯れ込む特徴がある。
軟腐病	(耕種的・物理的防除) 1 3～4年以上輪作する。 2 排水を良くする。 3 発病株は速やかに抜き取る。 (薬剤防除) 農業登録情報 1 微生物殺菌剤 薬剤名 マスタピース水和剤 2 露地栽培では、は種前又は生育期にキノンドー粒剤を土壌表面散布する。 3 発病初期から下記薬剤のいずれかを散布する。 薬剤名 Zボルドー ジーファイン水和剤 スターナ水和剤 ヨネボン	

病害虫	防除法	参考事項																
アブラムシ類	(薬剤防除) 農業登録情報																	
	1 生物農薬																	
	<table><tr><th>薬剤名(天敵名)</th><th>備考</th></tr><tr><td>アフィパール (コレマンアブラバチ)</td><td>施設栽培</td></tr><tr><td>コレトップ (コレマンアブラバチ)</td><td>施設栽培</td></tr><tr><td>チャバラ (チャバラアブラコバチ)</td><td>施設栽培</td></tr><tr><td>テントップ (ナミテントウ)</td><td>施設栽培</td></tr><tr><td>カメノコS (ヒメカメノコテントウ)</td><td>施設栽培</td></tr><tr><td>ゴッツA (ペキロマイセス テヌイペス)</td><td>施設栽培</td></tr><tr><td>ブリファード水和剤 (ペキロマイセス フモソロセウス)</td><td>ワタアブラムシでの登録</td></tr></table>	薬剤名(天敵名)	備考	アフィパール (コレマンアブラバチ)	施設栽培	コレトップ (コレマンアブラバチ)	施設栽培	チャバラ (チャバラアブラコバチ)	施設栽培	テントップ (ナミテントウ)	施設栽培	カメノコS (ヒメカメノコテントウ)	施設栽培	ゴッツA (ペキロマイセス テヌイペス)	施設栽培	ブリファード水和剤 (ペキロマイセス フモソロセウス)	ワタアブラムシでの登録	
	薬剤名(天敵名)	備考																
	アフィパール (コレマンアブラバチ)	施設栽培																
	コレトップ (コレマンアブラバチ)	施設栽培																
	チャバラ (チャバラアブラコバチ)	施設栽培																
	テントップ (ナミテントウ)	施設栽培																
	カメノコS (ヒメカメノコテントウ)	施設栽培																
	ゴッツA (ペキロマイセス テヌイペス)	施設栽培																
	ブリファード水和剤 (ペキロマイセス フモソロセウス)	ワタアブラムシでの登録																
	2 気門封鎖剤																	
	<table><tr><th>薬剤名</th></tr><tr><td>エコビタ液剤</td></tr><tr><td>オレート液剤</td></tr><tr><td>サフオイル乳剤</td></tr><tr><td>サンクリスタル乳剤</td></tr><tr><td>粘着くん液剤</td></tr><tr><td>フーモン</td></tr><tr><td>ムシラップ</td></tr></table>	薬剤名	エコビタ液剤	オレート液剤	サフオイル乳剤	サンクリスタル乳剤	粘着くん液剤	フーモン	ムシラップ									
	薬剤名																	
	エコビタ液剤																	
	オレート液剤																	
	サフオイル乳剤																	
	サンクリスタル乳剤																	
	粘着くん液剤																	
	フーモン																	
	ムシラップ																	
	3 発生が予想される場合には、下記薬剤のいずれかを散布する。																	
	<table><tr><th>薬剤名</th></tr><tr><td>テルスター水和剤</td></tr><tr><td>アドマイヤーフロアブル</td></tr><tr><td>ダントツ水溶剤</td></tr><tr><td>モスビラン顆粒水溶剤</td></tr><tr><td>ウララDF</td></tr><tr><td>アドマイヤー1粒剤</td></tr></table>	薬剤名	テルスター水和剤	アドマイヤーフロアブル	ダントツ水溶剤	モスビラン顆粒水溶剤	ウララDF	アドマイヤー1粒剤										
	薬剤名																	
	テルスター水和剤																	
	アドマイヤーフロアブル																	
	ダントツ水溶剤																	
モスビラン顆粒水溶剤																		
ウララDF																		
アドマイヤー1粒剤																		
		○ 天敵昆虫製剤、天敵微生物製剤の使用上の留意事項																
		1 天敵の放飼と薬剤散布(殺菌剤を含む)とを併用する場合は、 農業安全使用に関する参考資料の章の「天敵等への化学農薬の影響の目安」 を参照し、天敵に影響の少ない農薬を選択する。																
		2 アブラムシ類の生息密度が高まってからの放飼は十分な効果を得られない場合があるので、発生初期からの放飼が重要である。また、アブラムシの種類と天敵の組み合わせによっては、効果が認められない場合がある。																

病害虫	防除法	参考事項
ハスモンヨトウ	・ 共通防除の章のハスモンヨトウの防除の項を参照する。 (予防に関する措置) 1 施設栽培では、成虫の侵入防止対策として、換気窓等の施設開口部への防虫ネットによる被覆や防蛾(が)灯(黄色灯)の夜間点灯を行う。 2 ほ場内及びその周辺の雑草の防除に努める。 3 交信かく乱剤(下表)を活用した防除を行う。 (判断、防除に関する措置) 1 発生予察情報を参考に、ほ場の見回り等による早期発見に努め、発生初期に薬剤散布等を実施する。 2 卵塊や若齢幼虫が群生している葉を見つけ次第、除去する。 3 農薬を使用する場合には、同一系統の薬剤の連続使用を避け、異なる系統の薬剤によるローテーション散布を行う。さらに、地域内で薬剤抵抗性等が確認されている薬剤の使用判断については指導機関の指示に従う。 4 BT剤(下表)を活用した防除を行う。 5 施設栽培においては、栽培終了後に密閉処理を行う。 6 作物残さを適切に処分する。 (薬剤防除) 農業登録情報 1 交信かく乱剤 薬剤名 ヨトウコンーH コンフューザーV 2 BT剤 薬剤名 エコマスターBT クオークフロアブル サブリナフロアブル デルフィン顆粒水和剤 トアロー水和剤CT フローバックDF 3 若齢幼虫ののうちに、下記薬剤のいずれかを散布する。 薬剤名 アフーム乳剤 カスケード乳剤 プレバソンフロアブル5	

病害虫	防除法	参考事項										
ヨトウムシ	ヨトウムシ (予防に関する措置) 1 ほ場内及びその周辺の雑草の防除に努める。 2 施設栽培では、成虫の侵入防止対策として、換気窓等の施設開口部への防虫ネットによる被覆や防蛾(が)灯(黄色灯)の夜間点灯を行う。 3 種に応じて交信かく乱剤を活用した防除を併用する。 4 施設栽培においては、栽培終了後に蒸込み処理を行う。 (判断、防除に関する措置) 1 卵塊や若齢幼虫が群生している葉を見つけ次第、除去する。 2 BT 剤(下表)を活用した防除を行う。 3 発生予察情報を参考に、ほ場の見回り等による早期発見に努め、発生初期に薬剤散布等を実施する。 4 結球野菜では、結球内部に食入した場合に防除が難しくなることから、結球前の防除を徹底する。 5 物残さを適切に処分する。 (薬剤防除) 1 BT 剤 <table><tr><th>薬剤名</th></tr><tr><td>エスマルクDF</td></tr><tr><td>エコマスターBT</td></tr><tr><td>クオークフロアブル</td></tr><tr><td>サブリナフロアブル</td></tr><tr><td>チューンアップ顆粒水和剤</td></tr><tr><td>トアロー水和剤CT</td></tr><tr><td>フローバックDF</td></tr></table> 2 発生が予想される場合には、下記薬剤を散布する。 <table><tr><th>薬剤名</th></tr><tr><td>スピノエース顆粒水和剤</td></tr></table>	薬剤名	エスマルクDF	エコマスターBT	クオークフロアブル	サブリナフロアブル	チューンアップ顆粒水和剤	トアロー水和剤CT	フローバックDF	薬剤名	スピノエース顆粒水和剤	
薬剤名												
エスマルクDF												
エコマスターBT												
クオークフロアブル												
サブリナフロアブル												
チューンアップ顆粒水和剤												
トアロー水和剤CT												
フローバックDF												
薬剤名												
スピノエース顆粒水和剤												

病害虫	防除法	参考事項																										
アザミウマ類	(薬剤防除) 農薬登録情報																											
	1 生物農薬																											
	<table><tr><th>薬剤名(天敵名)</th><th>備考</th></tr><tr><td>スワルスキー (スワルスキーカブリダニ)</td><td></td></tr><tr><td>スワルスキープラス (スワルスキーカブリダニ)</td><td></td></tr><tr><td>ククメリス (ククメリスカブリダニ)</td><td>施設のみの登録</td></tr><tr><td>メリトップ (ククメリスカブリダニ)</td><td>施設のみの登録</td></tr><tr><td>リモニカ (リモニカスカブリダニ)</td><td>施設のみの登録</td></tr><tr><td>オリスターA (タイリクヒメハナカメムシ)</td><td>施設のみの登録</td></tr><tr><td>トスパック (タイリクヒメハナカメムシ)</td><td>施設のみの登録</td></tr><tr><td>リクトップ (タイリクヒメハナカメムシ)</td><td>施設のみの登録</td></tr><tr><td>タイリク (タイリクヒメハナカメムシ)</td><td>施設のみの登録</td></tr><tr><td>アリガタ (アリガタシマアザミウマ)</td><td>施設のみの登録</td></tr><tr><td>ボタニガードES (ボーベリア・バシアーナ)</td><td></td></tr><tr><td>ボタニガード水和剤 (ボーベリア・バシアーナ)</td><td>施設のみの登録</td></tr></table>	薬剤名(天敵名)	備考	スワルスキー (スワルスキーカブリダニ)		スワルスキープラス (スワルスキーカブリダニ)		ククメリス (ククメリスカブリダニ)	施設のみの登録	メリトップ (ククメリスカブリダニ)	施設のみの登録	リモニカ (リモニカスカブリダニ)	施設のみの登録	オリスターA (タイリクヒメハナカメムシ)	施設のみの登録	トスパック (タイリクヒメハナカメムシ)	施設のみの登録	リクトップ (タイリクヒメハナカメムシ)	施設のみの登録	タイリク (タイリクヒメハナカメムシ)	施設のみの登録	アリガタ (アリガタシマアザミウマ)	施設のみの登録	ボタニガードES (ボーベリア・バシアーナ)		ボタニガード水和剤 (ボーベリア・バシアーナ)	施設のみの登録	
	薬剤名(天敵名)	備考																										
	スワルスキー (スワルスキーカブリダニ)																											
	スワルスキープラス (スワルスキーカブリダニ)																											
	ククメリス (ククメリスカブリダニ)	施設のみの登録																										
	メリトップ (ククメリスカブリダニ)	施設のみの登録																										
	リモニカ (リモニカスカブリダニ)	施設のみの登録																										
	オリスターA (タイリクヒメハナカメムシ)	施設のみの登録																										
	トスパック (タイリクヒメハナカメムシ)	施設のみの登録																										
	リクトップ (タイリクヒメハナカメムシ)	施設のみの登録																										
	タイリク (タイリクヒメハナカメムシ)	施設のみの登録																										
	アリガタ (アリガタシマアザミウマ)	施設のみの登録																										
	ボタニガードES (ボーベリア・バシアーナ)																											
	ボタニガード水和剤 (ボーベリア・バシアーナ)	施設のみの登録																										
	2 発生が予想される場合には、下記薬剤を処理する。																											
	<table><tr><th>薬剤名</th></tr><tr><td>アドマイヤー1粒剤</td></tr></table>	薬剤名	アドマイヤー1粒剤																									
	薬剤名																											
	アドマイヤー1粒剤																											
【ネギアザミウマ】																												
<table><tr><th>薬剤名</th></tr><tr><td>アーデント水和剤</td></tr></table>	薬剤名	アーデント水和剤																										
薬剤名																												
アーデント水和剤																												
センチュウ類	・ 共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項 を参照する。																											
	(薬剤防除) 農薬登録情報																											
	1 下記薬剤を施用する。																											
	<table><tr><th>薬剤名</th><th>備考</th></tr><tr><td>石灰窒素50</td><td></td></tr><tr><td>石灰窒素55</td><td></td></tr><tr><td>粒状石灰窒素55</td><td></td></tr><tr><td>カルメート55</td><td></td></tr><tr><td>カルメート60</td><td></td></tr><tr><td>粒状石灰窒素40</td><td></td></tr><tr><td>粒状石灰窒素</td><td>ネコブセンチュウのみ登録</td></tr><tr><td>石灰窒素50防散</td><td>ネコブセンチュウのみ登録</td></tr></table>	薬剤名	備考	石灰窒素50		石灰窒素55		粒状石灰窒素55		カルメート55		カルメート60		粒状石灰窒素40		粒状石灰窒素	ネコブセンチュウのみ登録	石灰窒素50防散	ネコブセンチュウのみ登録									
	薬剤名	備考																										
	石灰窒素50																											
	石灰窒素55																											
	粒状石灰窒素55																											
	カルメート55																											
	カルメート60																											
粒状石灰窒素40																												
粒状石灰窒素	ネコブセンチュウのみ登録																											
石灰窒素50防散	ネコブセンチュウのみ登録																											

病害虫	防除法	参考事項																						
ネキリムシ類	(耕種的・物理的防除) 1 被害株周辺の幼虫を捕殺する。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 は種時又は定植時に下記薬剤を処理する。 <table><tr><td>薬剤名</td></tr><tr><td>フォース粒剤</td></tr></table> 2 発生を認めたら、下記薬剤を散布する。 <table><tr><td>薬剤名</td></tr><tr><td>ガードベイトA</td></tr></table>	薬剤名	フォース粒剤	薬剤名	ガードベイトA																			
薬剤名																								
フォース粒剤																								
薬剤名																								
ガードベイトA																								
ハダニ類	(薬剤防除) 農薬登録情報 1 生物農薬 <table><tr><th>薬剤名(天敵名)</th><th>備考</th></tr><tr><td>スパイデックス (チリカブリダニ)</td><td>施設のみ</td></tr><tr><td>チリガブリ (チリカブリダニ)</td><td>施設のみ</td></tr><tr><td>チリトッブ (チリカブリダニ)</td><td>施設のみ</td></tr><tr><td>システムミヤコくん (ミヤコカブリダニ)</td><td></td></tr><tr><td>スパイカルプラス (ミヤコカブリダニ)</td><td></td></tr><tr><td>スパイカルEX (ミヤコカブリダニ)</td><td></td></tr></table> 2 気門封鎖剤 <table><tr><th>薬剤名</th></tr><tr><td>アカリタッチ乳剤</td></tr><tr><td>エコビタ液剤</td></tr><tr><td>サフオイル乳剤</td></tr><tr><td>サンクリスタル乳剤</td></tr><tr><td>粘着くん液剤</td></tr><tr><td>フーモン</td></tr><tr><td>ムシラップ</td></tr></table>	薬剤名(天敵名)	備考	スパイデックス (チリカブリダニ)	施設のみ	チリガブリ (チリカブリダニ)	施設のみ	チリトッブ (チリカブリダニ)	施設のみ	システムミヤコくん (ミヤコカブリダニ)		スパイカルプラス (ミヤコカブリダニ)		スパイカルEX (ミヤコカブリダニ)		薬剤名	アカリタッチ乳剤	エコビタ液剤	サフオイル乳剤	サンクリスタル乳剤	粘着くん液剤	フーモン	ムシラップ	○ 天敵昆虫製剤、天敵微生物製剤の使用上の留意事項 1 天敵の放飼と薬剤散布(殺菌剤を含む)とを併用する場合は、農薬安全使用に関する参考資料の章の「天敵等への化学農薬の影響の目安」を参照し、天敵に影響の少ない農薬を選択する。 2 ハダニ類の生息密度が高まってからの放飼は十分な効果を得られない場合があるので、発生初期からの放飼が重要である。
薬剤名(天敵名)	備考																							
スパイデックス (チリカブリダニ)	施設のみ																							
チリガブリ (チリカブリダニ)	施設のみ																							
チリトッブ (チリカブリダニ)	施設のみ																							
システムミヤコくん (ミヤコカブリダニ)																								
スパイカルプラス (ミヤコカブリダニ)																								
スパイカルEX (ミヤコカブリダニ)																								
薬剤名																								
アカリタッチ乳剤																								
エコビタ液剤																								
サフオイル乳剤																								
サンクリスタル乳剤																								
粘着くん液剤																								
フーモン																								
ムシラップ																								